



<参考>様式第4号  
豊明市議会議員 殿

平成30年4月23日

## 研修会・講演会等参加報告書

議員名 宮本 英彦

平成30年度豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日付	研修先	研修項目及び成果等
平成30年4月21日(土) 13:00 ～ 17:00	全国町村会館(東京都千代田区)	<p>地方議会議員フォーラム2018 「議会改革の第二ステージ～議会評価を考える～」 &lt;研修内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北川正恭氏(早稲田大学名誉教授、元三重県知事) 基調講演「次世代地方議会のあり方」</li> <li>・江藤俊昭氏(山梨学院大学) 問題提起 「議会からの政策サイクルとその評価」</li> <li>・事例紹介(可児市議会川上氏、・大津市議会清水氏、会津若松市議会松崎氏)</li> <li>・パネル討議(陸前高田市議会福田氏、会津若松市議会目黒氏、船橋市議会鈴木氏、山梨市議会廣瀬氏、可児市議会川上氏、元飯田市議会事務局牧内氏、大津市議会局清水氏、那覇市議会前泊氏)、早稲田大学マニフェスト研中村氏。</li> </ul> <p>&lt;研修を終えて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的な議会に共通するワードは、議会報告会、市民との意見交換会、所管事務調査、議員間討議、常任委員会(テーマ設定・任期など)中心の活動、議会基本条例の見直し、決算審査の重視、決算から予算へ政策提言、議長立候補制、議員倫理条例、議会事務局であり、本市議会の議会改革もそれらを点検、見直す必要がある。</li> <li>・特徴的な議会として、常任委員会の任期を4年とし、年間を通したテーマ設定を行い、議会報告会、議会と市民との意見交換会、所管事務調査、行政視察など全てテーマに沿った活動を行っている。</li> <li>・先進的な大津市議会、可児市議会、会津若松市議会の議会改革はいずれも保守系議員が主導している。</li> <li>・これらの議会の議長選挙は立候補制。立候補者の所信表明などが行われ選出過程が市民にも見える方法がとられていた。本市議会においても議長選出過程の改革が必要と強く感じた。</li> <li>・しかし、先進的な議会も、旧態依然とした議会であったが、ターニングポイントがあった。はじめの一步は、「せめて全議員がやれることから始める」が印象的な言葉であった。</li> </ul>

(注) 本報告書は5年間公開します。